

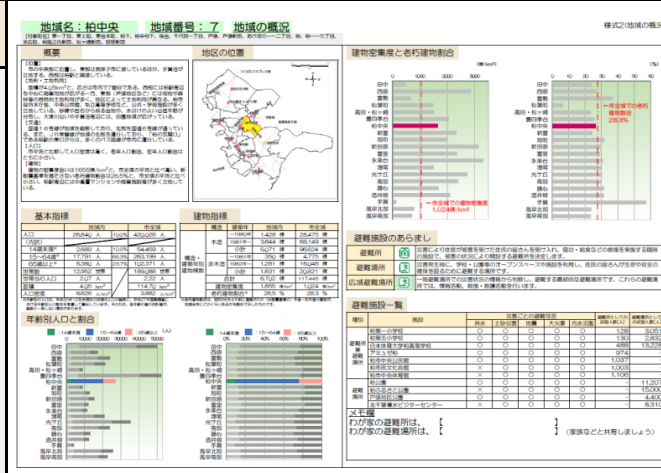
柏市地域別防災カルテ 風早北部地域 (地域番号:19)

このカルテは、柏市で想定される各種災害に対する地域別のリスクを把握し、家庭での備え(自助)、地域での備え(共助)を促進することを目的として、平成30年度柏市防災アセスメント調査の結果を踏まえ、20のコミュニティエリアを単位としてとりまとめたものです。
 大災害を想定した調査であり、厳しい被害予測も示されていますが、避難施設などのプラス面も含めて行政と皆さまとで情報を共有し、防災・減災を共に実現したいと考えています。ぜひ、ご活用ください。
 ※調査結果は各種想定に基づくものであり、実際の災害で同様の状況になることを示すものではありません。
 以下に、それぞれの様式の使い方や内容を示します。(例示している画像は、市役所がある柏中央地域のもので)

様式2 地域の概況

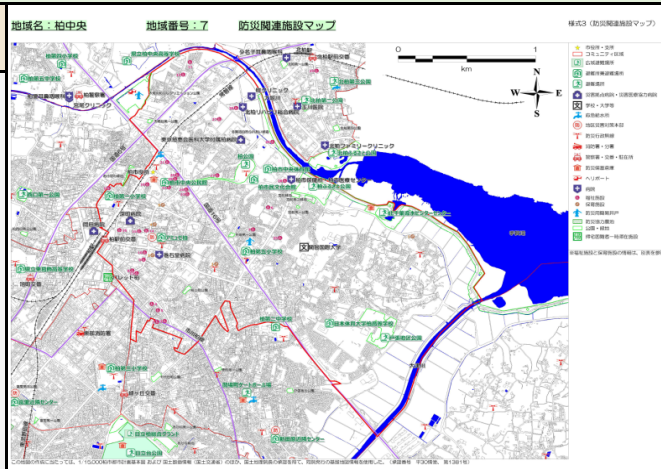
地域の基本情報として、以下の内容を記載しています。

- このカルテで対象とする町名(住所)
- 地域の地形や交通の状況
- 人口 ●世帯数 ●面積 ●建物
- 避難施設の一覧、災害の種類に応じた利用可否、収容人数



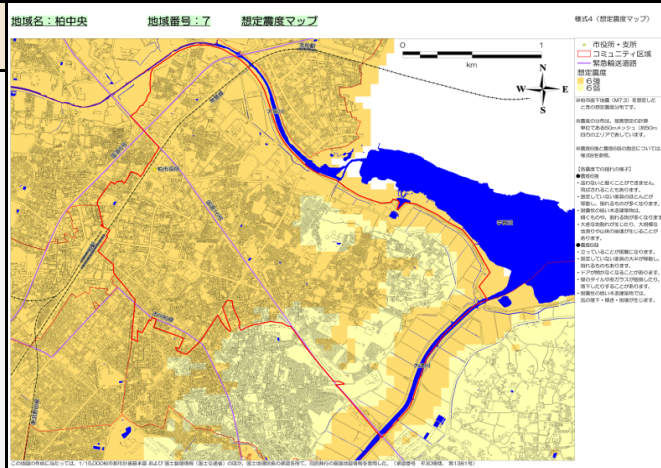
様式3 防災関連施設マップ

様式2で確認した避難施設の場所がどこにあるのか、どの道を通って避難すればよいのか、などを考える際にご活用ください。
 災害が発生した時に助けとなる施設(応急給水所など)の位置も、併せて確認しておきましょう。
 ※福祉施設と保育施設の一覧表は、別表で示しています。



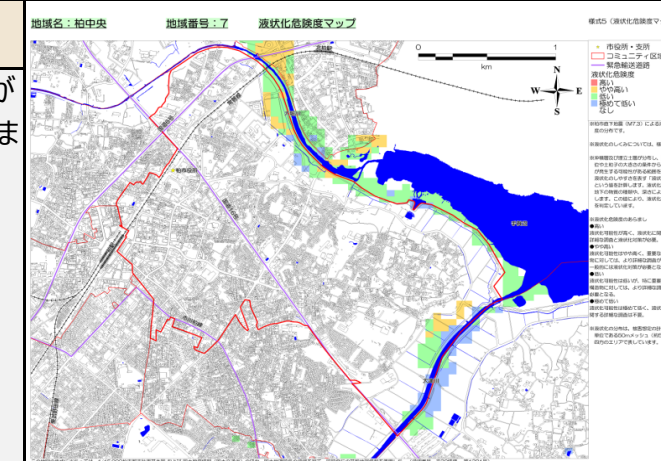
様式4 想定震度マップ

柏市直下地震を想定した場合の、地域内の震度分布を示しています。
 自宅や勤め先、学校などの震度を確認し、様式3の防災関連施設マップと併せて、避難する場所や、助けとなる場所へのルートを考えてみましょう。



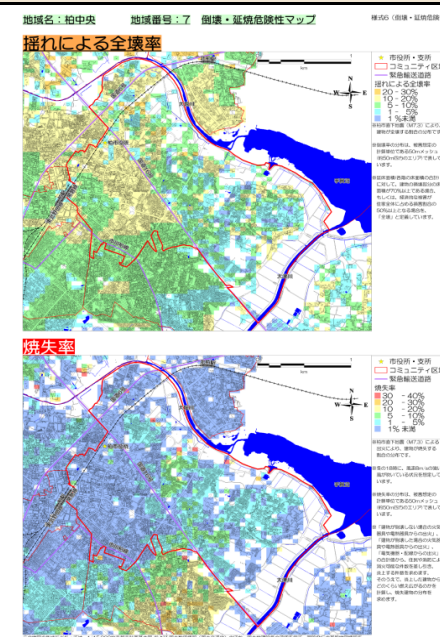
様式5 液状化危険度マップ

柏市直下地震による揺れを想定した場合に、液状化現象が発生する可能性がある地点と、その可能性の大小を示しています。
 水を多く含んだゆるい砂地盤(川や水路の周囲や田畑など)に注意しましょう。
 ※液状化が発生する可能性が無い地域もあります。



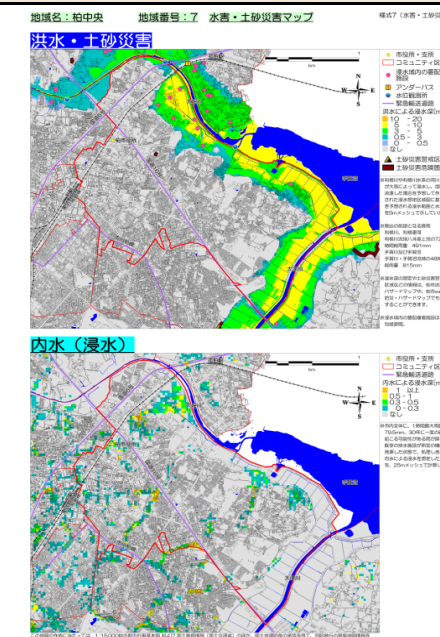
様式6 倒壊・延焼危険性マップ

柏市直下地震によって建物が崩れて(全壊して)しまう割合と、火事の発生により焼失してしまう建物の割合を示しています。



様式7 水害・土砂災害マップ

2種類の浸水による被害予想を示しています。
 ①川の水があふれることによる洪水
 ②雨水が溜まってしまうことによる内水被害
 がけ崩れなど、土砂災害の危険性がある区域についても示しています。



様式8 地域の評価



地震や水害による各種被害(建物倒壊や負傷者、避難者など)の数値を示しています。
 また、災害について知っていただきたい知識も、併せて掲載しています。
 情報を基に、お住まいの地域がどのような被害を、どの程度受けるのか確認し、家庭内の防災に向けた取り組みや、地域の方々との防災活動のきっかけとして活用してください。

地域名：風早北部 地域番号：19 地域の概況

様式2(地域の概況)

【対象町名】風早一～二丁目、大井、大井新田、大島田、大津ヶ丘一～四丁目、五條谷、塚崎、塚崎一～三丁目、緑台、箕輪、箕輪新田、岩井、手賀の杜一～五丁目

概要

【位置】市の概ね南部に位置し、北部には手賀沼が、東側には大津川が位置する。

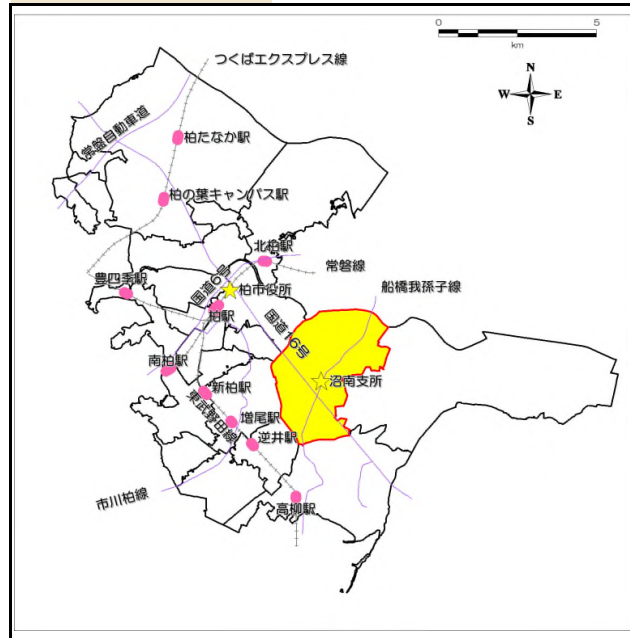
【地形・土地利用】地域の面積が9.97km²と、広さは市内で5番目である。地域全体の4割以上が住宅用地となっており、畑地や森林等の自然的土地利用の割合が他地域と比べて高い。地域中西部の国道16号近辺では大津ヶ丘団地など多くの住宅が立地している。地域の東部には近年の区画整理事業により手賀の杜地区に多くの住宅が建てられている。大部分は、水はけのよい谷底平野から成る。

【交通】地域を北西部から南部にかけて国道16号線が縦断している。バス交通は、沼南支所周辺と柏駅を結ぶ路線は運行本数が多いものの、その他の多くの路線は運行本数が少なく、補充するため、かしわ乗合ジャンボタクシー等が運行している。

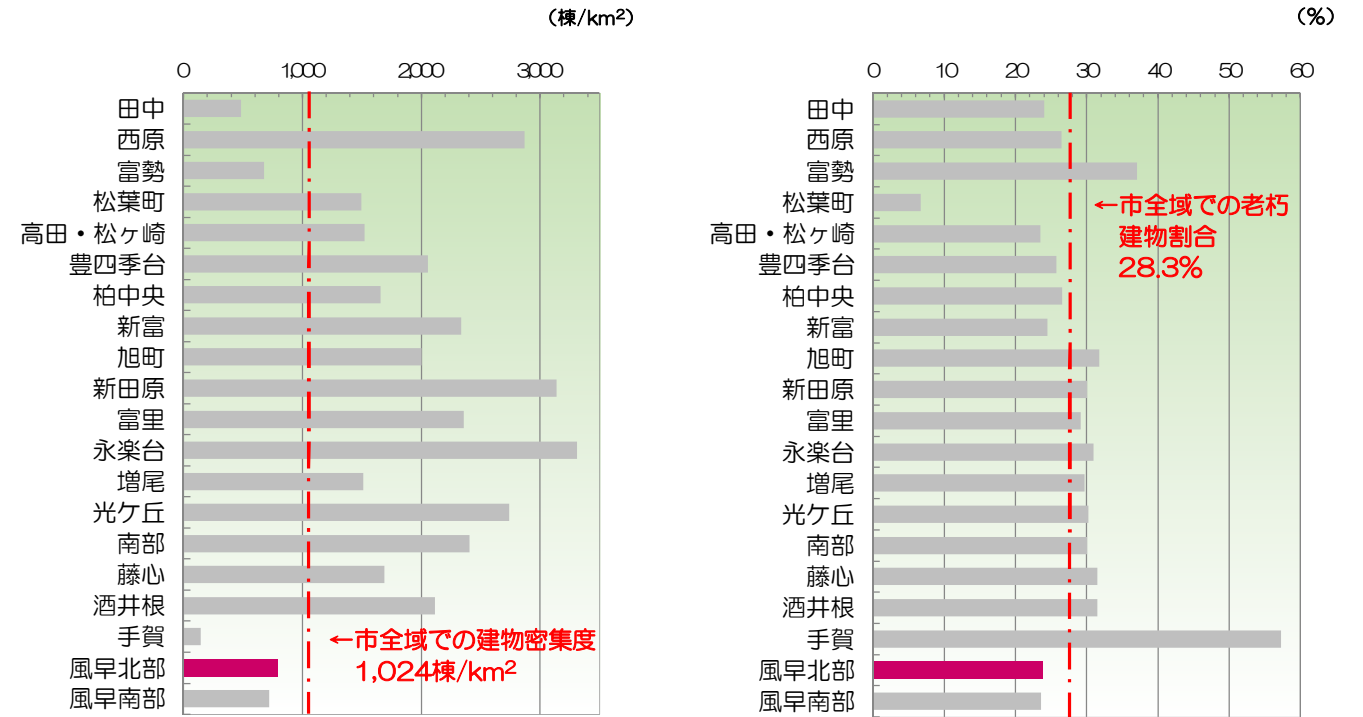
【人口】市平均と比較して人口密度は低く、老年人口割合、若年人口割合ともに大きい。人口推計によると、将来にわたり、人口減少及び高齢化の進行が見込まれている。

【建物】建物の密集度合いは793棟/km²と、市全域の平均と比べ低い。新耐震基準を満たさない老朽建物割合は23.8%と、市全域の平均と比べ小さい。

地区の位置



建物密集度と老朽建物割合



基本指標

	地域内		市全域	
人口	25,676 人	100%	420,028 人	
(内訳)				
14歳未満*	3,798 人	14.8%	54,459 人	
15～64歳*	15,123 人	58.9%	263,199 人	
65歳以上*	6,756 人	26.3%	102,371 人	
世帯数	11,080 世帯		189,088 世帯	
世帯当り人口	2.32 人		2.22 人	
面積	9.97 km ²		114.70 km ²	
人口密度	2,575 人/km ²		3,662 人/km ²	

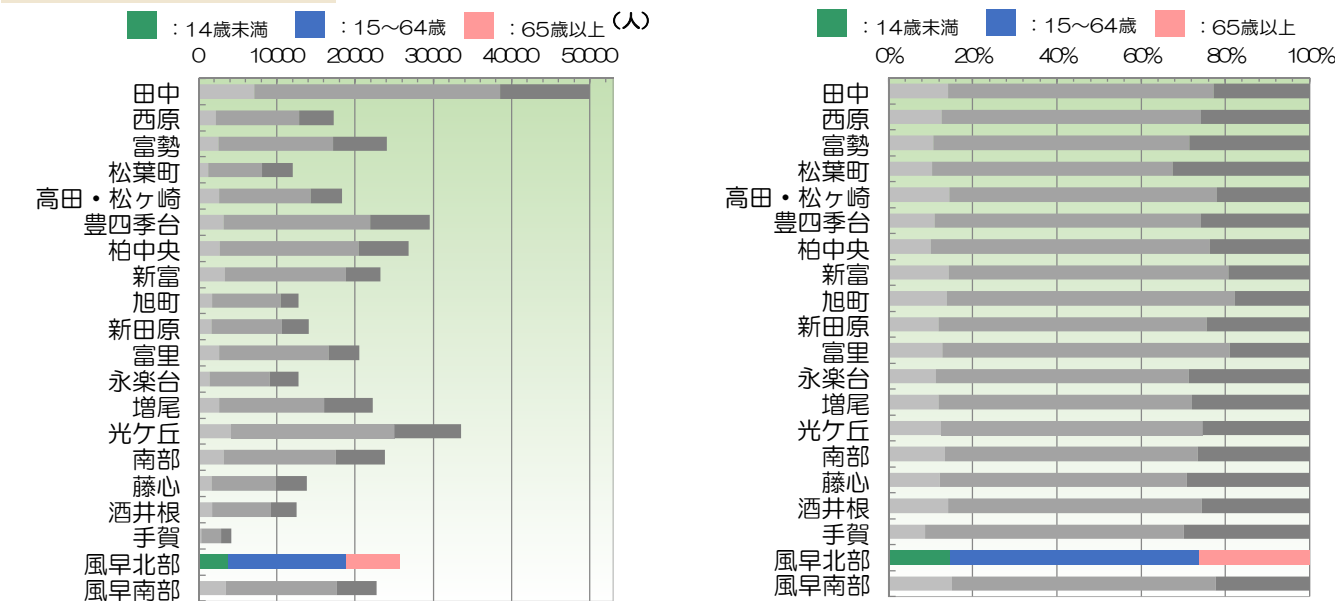
建物指標

	構造	建築年	地域内	市全域
構造・ 建築年別 建物棟数	木造	～1980年	1,519 棟	28,475 棟
		1981年～	4,979 棟	68,149 棟
		小計	6,498 棟	96,624 棟
	非木造	～1981年	367 棟	4,775 棟
		1982年～	1,047 棟	16,046 棟
		小計	1,414 棟	20,821 棟
合計		7,911 棟	117,445 棟	
建物密集度		793 棟/km ²	1,024 棟/km ²	
老朽建物割合*		23.8 %	28.3 %	

※年齢別の人口は、平成30年12月末現在の地域内人口の総数と、平成27年国勢調査における年齢別人口割合を考慮して算出しています。そのため、各年齢の値の合計値が、総数と一致しない場合があります。

※老朽建物割合は、昭和56年より前に建築された(旧耐震基準の)木造・非木造の建物が、地域全体にどのくらいあるかを割合で示したものです。

年齢別人口と割合



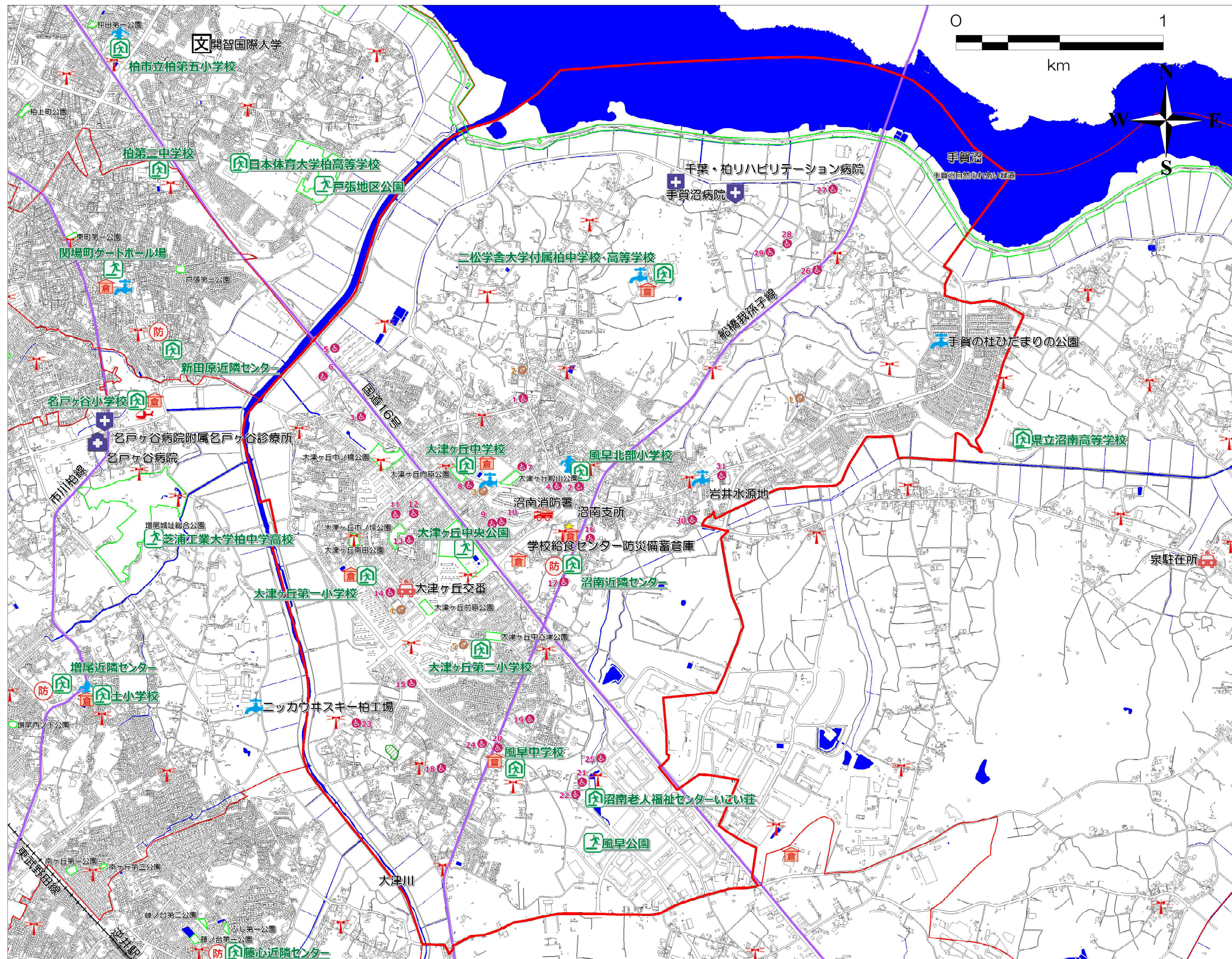
避難施設のあらまし

避難所		災害により住居が被害を受けた住民の皆さんを受け入れ、宿泊・給食などの救援を実施する臨時の施設で、被害の状況により開設する避難所を決定します。
避難場所		災害発生時に、学校・公園等のオープンスペースや施設を利用し、住民の皆さんが生命や安全の確保を図るために避難する場所です。
広域避難場所		一時避難場所での災害状況の情報から判断し、避難する最終的な避難場所です。これらの避難場所では、情報活動、救援・救護活動を行います。

避難施設一覧

種別	施設	災害ごとの避難可否					避難所としての収容人数[人]	避難場所としての収容人数[人]
		洪水	土砂災害	地震	大火灾	内水氾濫		
避難所兼 避難場所	沼南近隣センター	○	○	○	○	○	660	-
	沼南老人福祉センターいこい荘	○	○	○	○	○	130	-
	風早北部小学校	○	○	○	○	○	105	2,569
	大津ヶ丘第一小学校	○	○	○	○	○	120	5,366
	大津ヶ丘第二小学校	○	○	○	○	○	120	5,557
	風早中学校	○	○	○	○	○	273	5,595
	大津ヶ丘中学校	○	○	○	○	○	259	8,247
避難場所	二松学舎大学附属柏中学校・高等学校	○	○	○	○	○	838	9,698
	大津ヶ丘中央公園	○	○	○	○	○	-	16,500
	風早公園	○	○	○	○	○	-	7,160

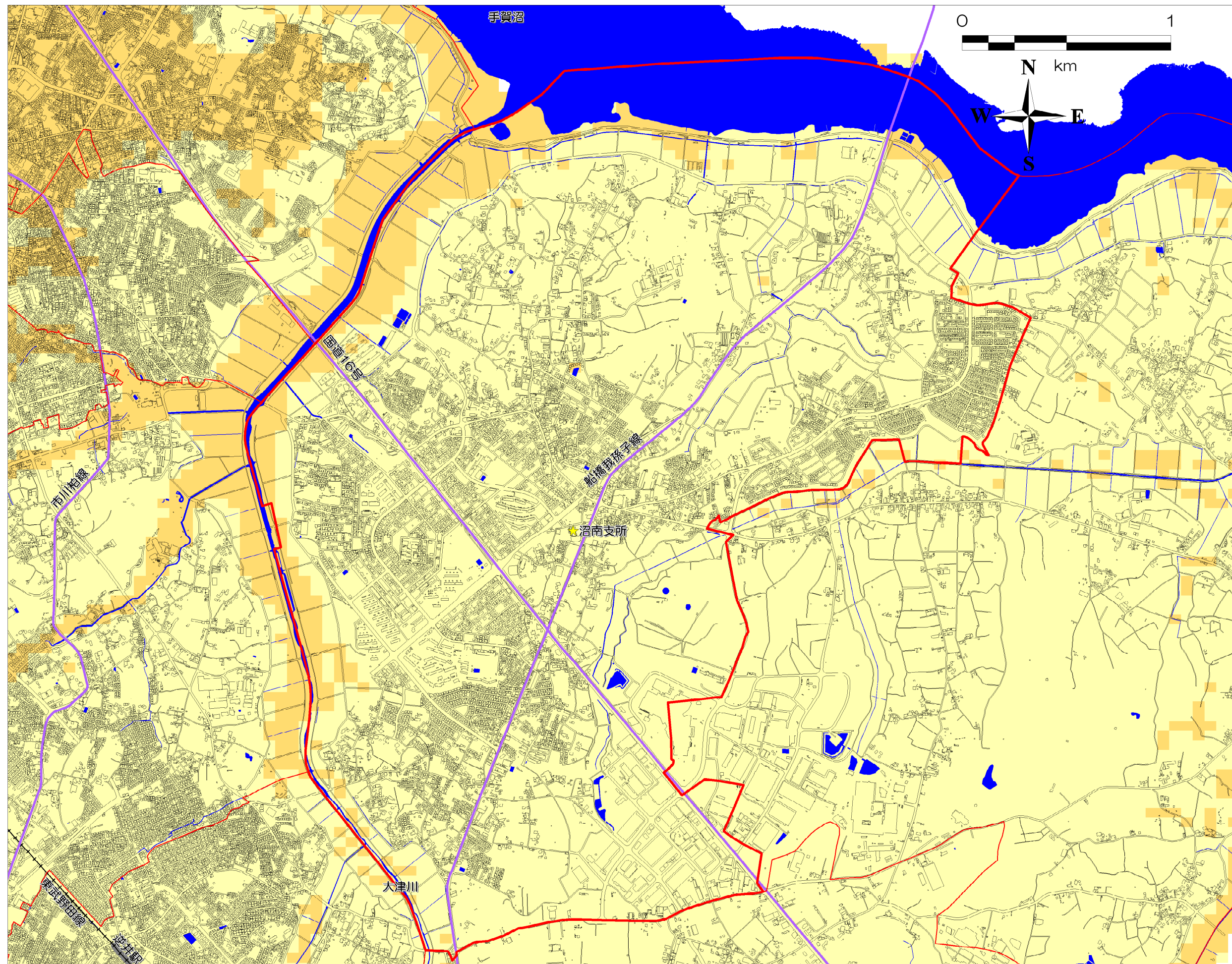
メモ欄
 わが家の避難所は、【 】
 わが家の避難場所は、【 】 (家族と共有しましょう)



- ★ 市役所・支所
- コミュニティ区域
- 🏠 広域避難場所
- 🏠 避難所兼避難場所
- 🏠 避難場所
- 🏥 災害拠点病院・災害医療協力病院
- 🎓 学校・大学等
- 💧 応急給水所
- 🚒 地区災害対策本部
- 🚒 防災行政無線
- 🚒 消防署・分署
- 🚓 警察署・交番・駐在所
- 🏠 防災備蓄倉庫
- 🚁 ヘリポート
- 🏥 病院
- 👴 福祉施設
- 👶 保育施設
- 🚰 防災用簡易井戸
- 🌱 防災協力農地
- 🌳 公園・緑地
- 🛣️ 緊急輸送道路

※福祉施設と保育施設の情報は、別表を参照。

この地図の作成に当たっては、1/15,000柏市都市計画基本図 および 国土数値情報（国土交通省）のほか、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第1381号）



- ★ 市役所・支所
- コミュニティ区域
- 緊急輸送道路
- 想定震度
- 6強
- 6弱

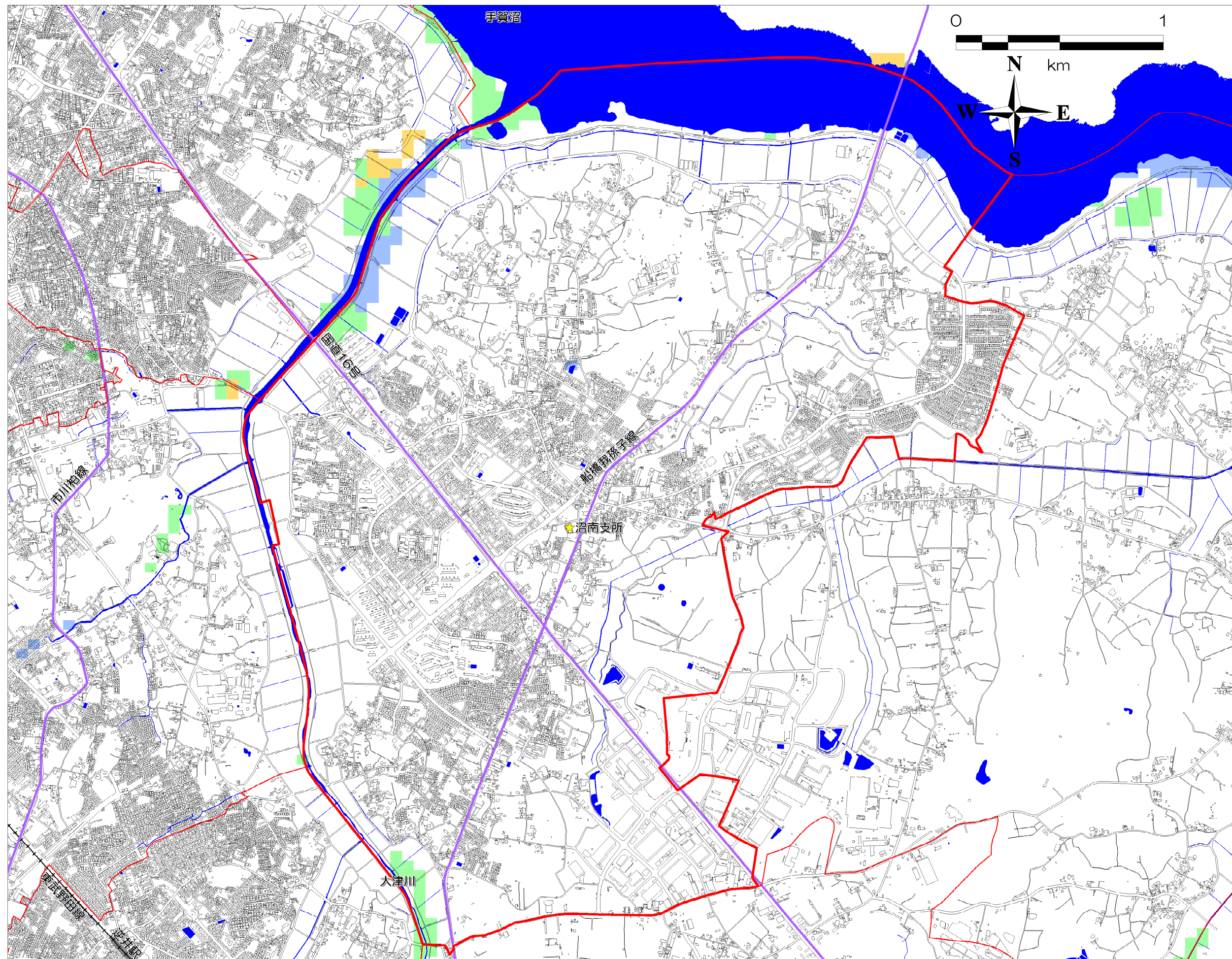
※柏市直下地震（M7.3）を想定したときの想定震度分布です。

※震度の分布は、被害想定計算単位である50mメッシュ（約50m四方のエリア）で表しています。

※震度6強と震度6弱の割合については、様式8を参照。

【各震度での揺れの様子】

- 震度6強
 - ・這わないと動くことができません。飛ばされることもあります。
 - ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなります。
 - ・耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものが多くなります。
 - ・大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が生じることがあります。
- 震度6弱
 - ・立っていることが困難になります。
 - ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあります。
 - ・ドアが開かなくなることがあります。
 - ・壁のタイルや窓ガラスが破損したり、落下したりすることがあります。
 - ・耐震性の低い木造建築物では、瓦の落下・傾き・倒壊が生じます。



- ★ 市役所・支所
- コミュニティ区域
- 緊急輸送道路
- 液状化危険度
 - 高い
 - やや高い
 - 低い
 - 極めて低い
 - なし

※柏市直下地震（M7.3）による液状化危険度の分布です。

※液状化のしくみについては、様式8を参照。

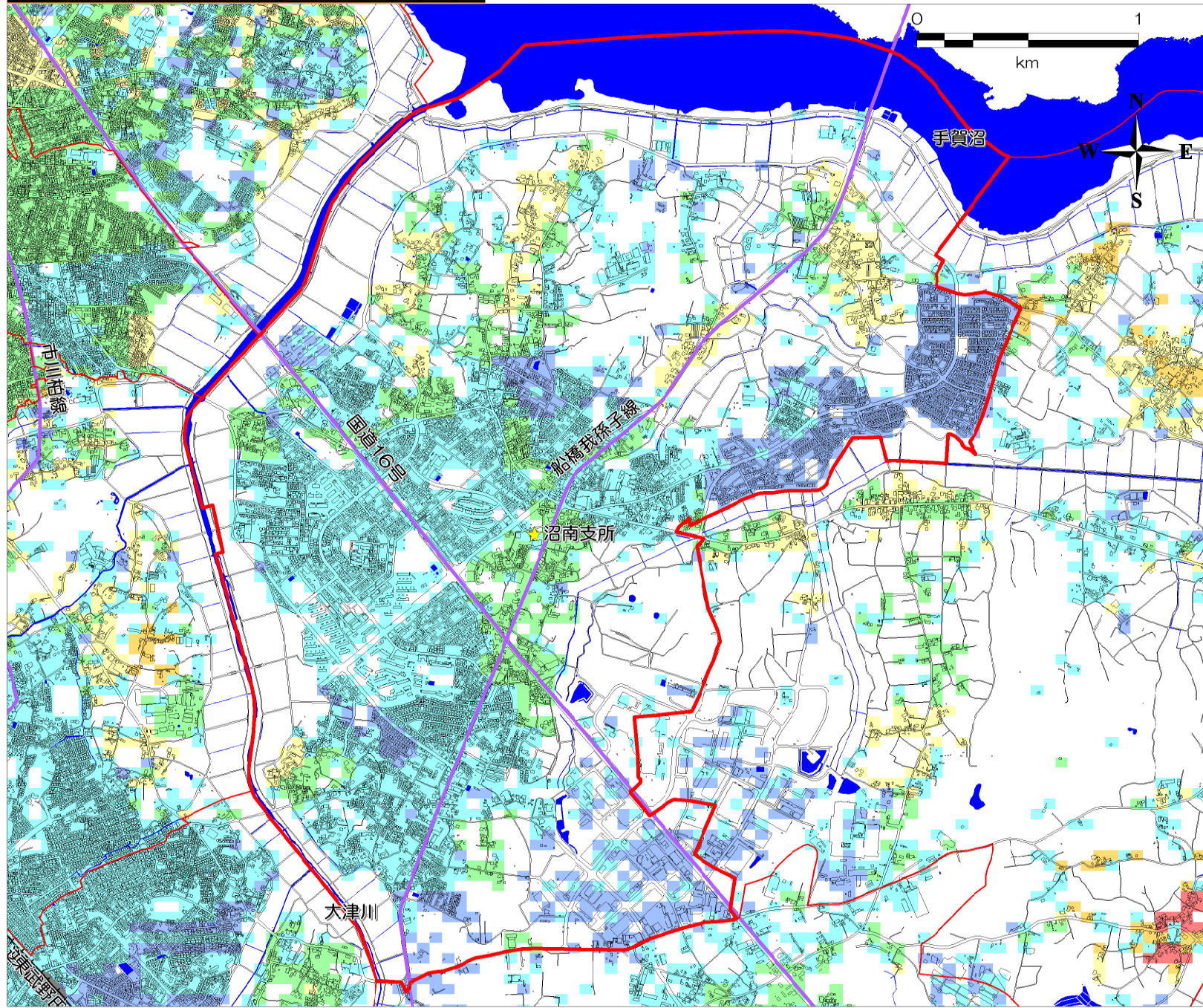
※沖積層及び埋立土層が分布し、地下水位や土粒子の大きさの条件から液状化が発生する可能性がある範囲を対象に、液状化のしやすさを表す「液状化指数」という値を計算します。液状化指数は、地下の物質の種類や、深さによって変化します。この値により、液状化の危険度を判定しています。

- ※液状化危険度のあらまし
- 高い
液状化可能性が高く、液状化に関する詳細な調査と液状化対策が必要。
 - やや高い
液状化可能性はやや高く、重要な構造物に対しては、より詳細な調査が必要。一般的には液状化対策が必要となる。
 - 低い
液状化可能性は低いが、特に重要な構造物に対しては、より詳細な調査が必要となる。
 - 極めて低い
液状化可能性は極めて低く、液状化に関する詳細な調査は不要。

※液状化の分布は、被害想定計算単位である50mメッシュ（約50m四方のエリア）で表しています。

この地図の作成に当たっては、1/15,000柏市都市計画基本図 および 国土数値情報（国土交通省）のほか、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第1381号）

揺れによる全壊率



★ 市役所・支所
 □ コミュニティ区域
 〰 緊急輸送道路

揺れによる全壊率

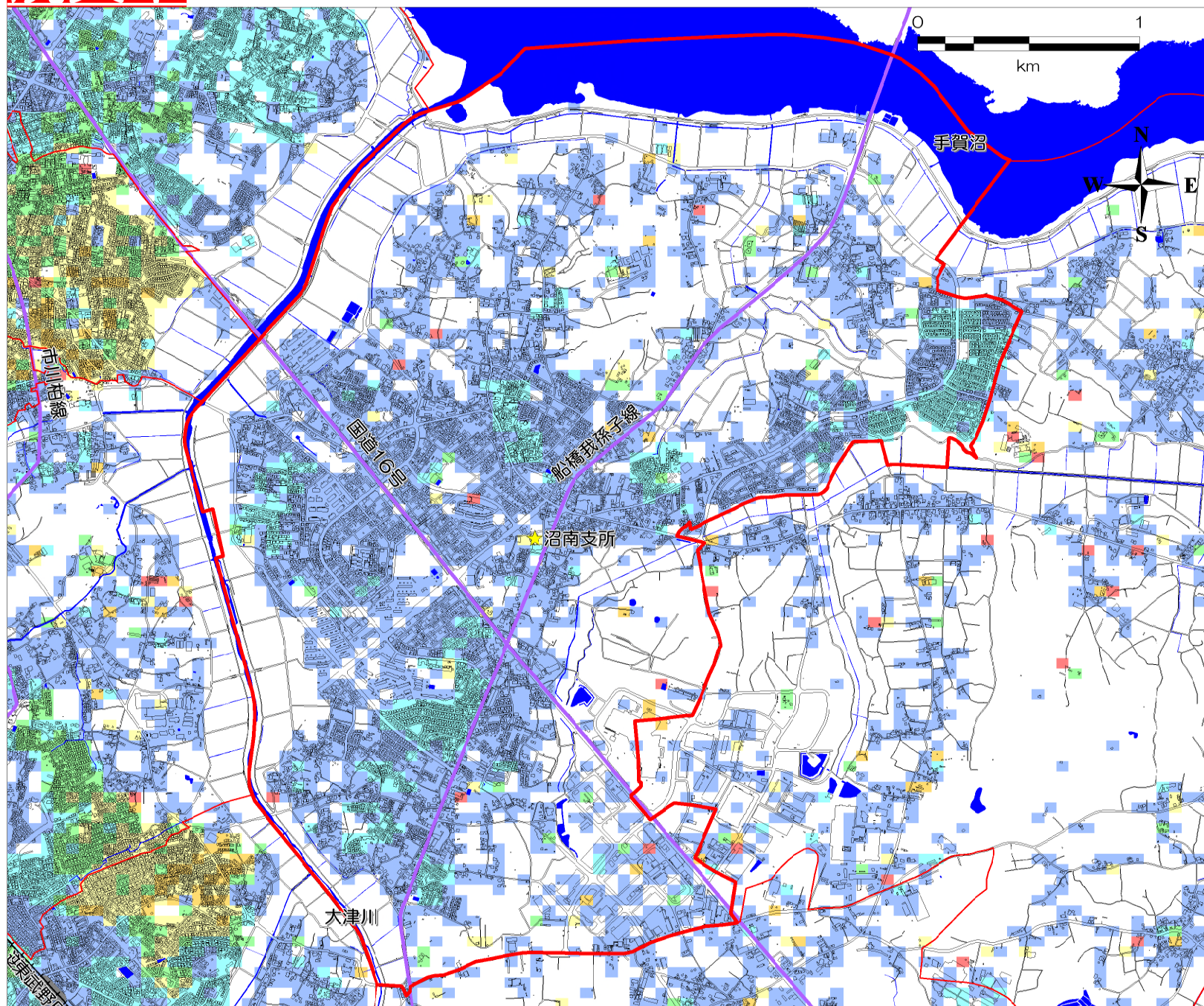
20 - 30%
10 - 20%
5 - 10%
1 - 5%
1%未満

※柏市直下地震（M7.3）により、建物が全壊する割合の分布です。

※倒壊率の分布は、被害想定 of 計算単位である50mメッシュ（約50m四方のエリア）で表しています。

※延床面積（各階の床面積の合計）に対して、建物の損壊部分の床面積が70%以上である場合、もしくは、経済的な被害が住家全体に占める損害割合の50%以上となる場合を、「全壊」と定義しています。

焼失率



★ 市役所・支所
 □ コミュニティ区域
 〰 緊急輸送道路

焼失率

30 - 40%
20 - 30%
10 - 20%
5 - 10%
1 - 5%
1%未満

※柏市直下地震（M7.3）による出火により、建物が焼失する割合の分布です。

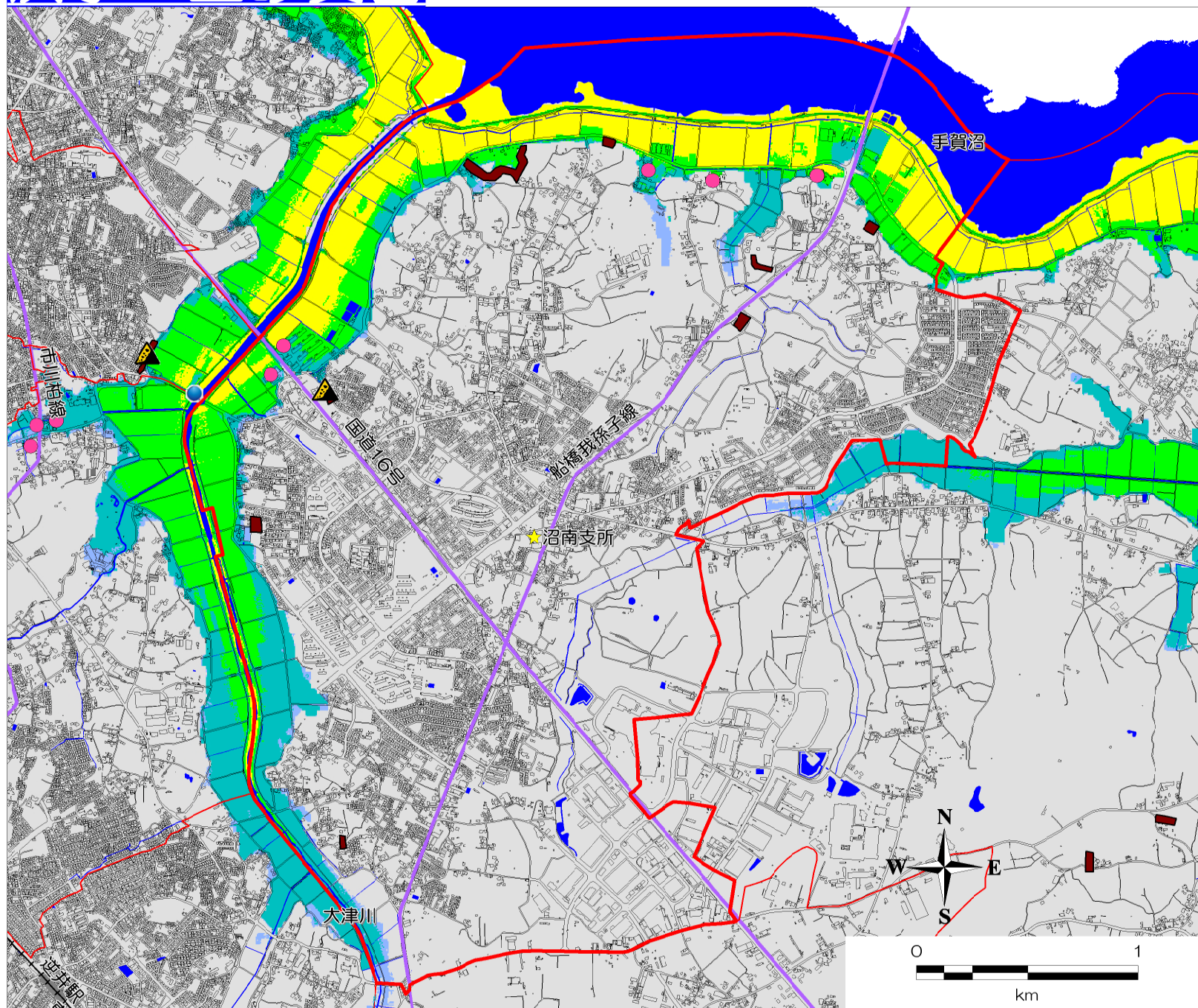
※冬の18時に、風速8m/sの強い風が吹いている状況を想定しています。

※焼失率の分布は、被害想定 of 計算単位である50mメッシュ（約50m四方のエリア）で表しています。

※「建物が倒壊しない場合の火気器具や電熱器具からの出火」、「建物が倒壊した場合の火気器具や電熱器具からの出火」、「電気機器・配線からの出火」の合計値から、住民や消防により消火可能な件数を差し引き、炎上する件数を求めます。そのうえで、炎上した建物からのくらい燃え広がるのかを計算し、焼失建物の分布を求めます。

この地図の作成に当たっては、1/15,000柏市都市計画基本図 および 国土数値情報（国土交通省）のほか、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第1381号）

洪水・土砂災害



- ★ 市役所・支所
 - コミュニティ区域
 - 浸水域内の要配慮者施設
 - アンダーパス
 - 水位観測所
 - 緊急輸送道路
- 洪水による浸水深[m]
- 10 - 20
 - 5 - 10
 - 3 - 5
 - 0.5 - 3
 - 0 - 0.5
 - なし
- ▲ 土砂災害警戒区域等
 - 土砂災害危険箇所

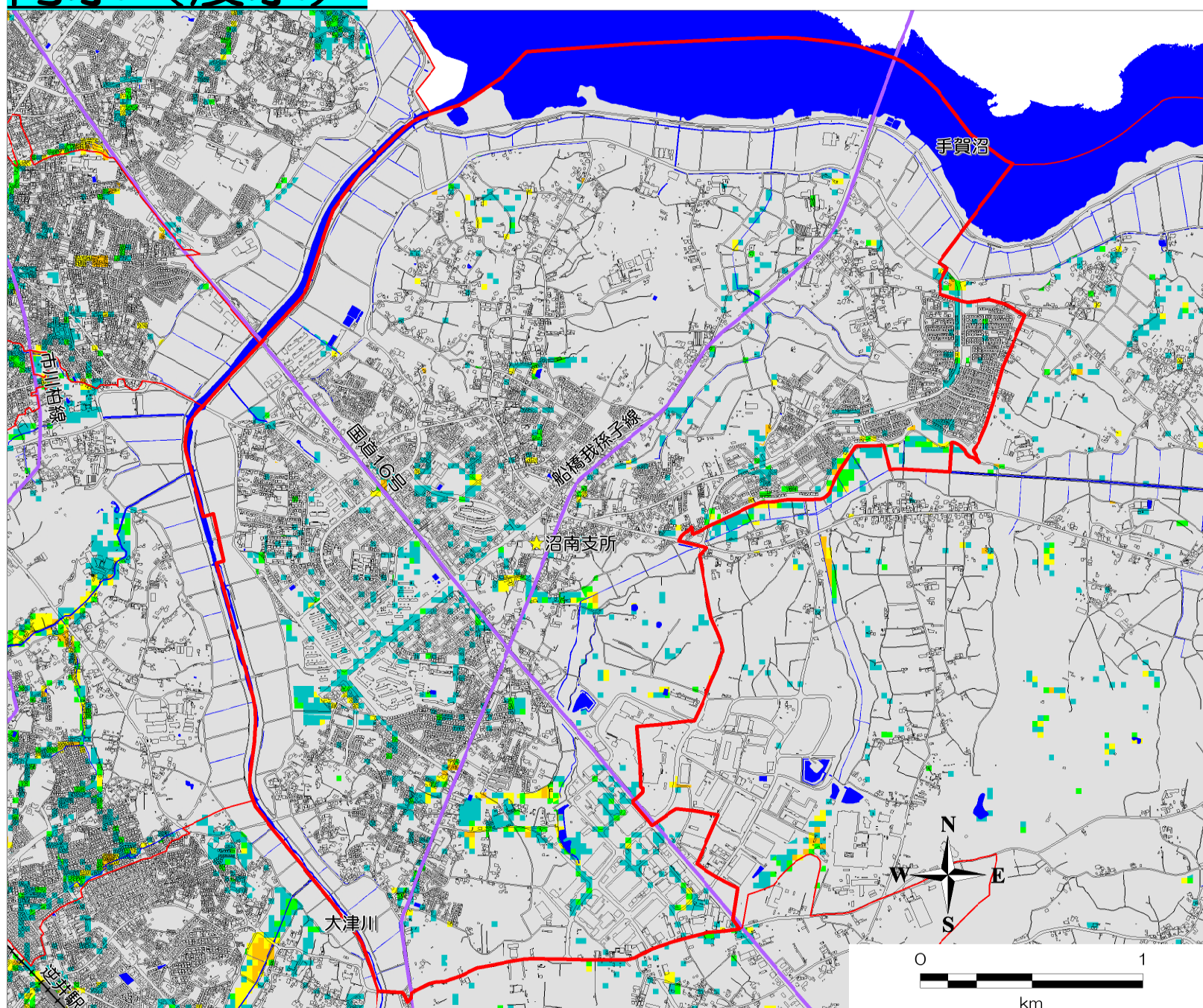
※利根川や利根川水系の河川が大雨によって浸水し、堤防が決壊した場合を予想して作成された浸水想定区域図に基づき予想される浸水範囲と水深を5mメッシュで示しています。

※算出の前提となる降雨
 利根川、利根運河
 利根川流域八斗島上流の72時間総雨量 491mm
 手賀川及び手賀沼
 手賀川・手賀沼流域の48時間総雨量 815mm

※浸水深の想定や土砂災害警戒区域などの情報は、柏市洪水ハザードマップや、柏市web版防災・ハザードマップでも確認することができます。

※浸水域内の要配慮者施設は別紙参照。

内水（浸水）



- ★ 市役所・支所
 - コミュニティ区域
 - 緊急輸送道路
- 内水による浸水深[m]
- 1 以上
 - 0.5 - 1
 - 0.3 - 0.5
 - 0 - 0.3
 - なし

※市内全体に、1時間最大雨量79.5mm、30年に一度の確率で起こる可能性がある雨が降った時、既存の排水施設が所定の機能を発揮した状態で、処理しきれない内水による浸水を想定した浸水深を、25mメッシュで計算しています。

この地図の作成に当たっては、1/15,000柏市都市計画基本図 および 国土数値情報（国土交通省）のほか、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第1381号）

防災関連施設等の数

種類	地域内	市全域
災害拠点病院・災害医療協力病院	0 箇所	11 箇所
応急給水所	4 箇所	38 箇所
防災行政無線	23 箇所	190 箇所
消防署・分署	1 箇所	13 箇所
警察署・交番・駐在所	1 箇所	22 箇所
防災備蓄倉庫	6 箇所	42 箇所
ヘリポート	0 箇所	10 箇所
福祉施設	31 箇所	332 箇所
保育施設	5 箇所	96 箇所
浸水域内の要配慮者施設	5 箇所	49 箇所
防災用簡易井戸	1 箇所	16 箇所
防災協力農地	1 箇所	18 箇所
公園・緑地	9 箇所	139 箇所
アンダーパス	0 箇所	4 箇所
水位観測所	0 箇所	6 箇所
土砂災害警戒区域等	1 箇所	22 箇所
土砂災害危険箇所	7 箇所	40 箇所

地域の災害特性

種類	内容
地震災害	<p>予測震度（様式4参照） 柏市直下地震が発生した場合、地域内の10.1%の地点で震度6強、89.9%の地点で震度6弱となる。</p>
	<p>液状化危険性（様式5参照） 地域の北西及び南西の大津川沿いに、液状化の危険性がある地点が存在する。</p>
	<p>建物倒壊、焼失の被害（様式6参照） 地域内の3.08%の家屋が全壊、7.12%が半壊する。また、0.62%の家屋が焼失すると予想される。</p>
風水害・土砂災害	<p>避難者 2400人（地域内の9.35%）が避難所に避難して生活すると予想される。</p>
	<p>河川氾濫による浸水（様式7参照） 手賀沼沿い～大津川沿いにかけて、5～10mの浸水深が予想される地点が広く分布している。</p>
	<p>内水による浸水（様式7参照） 浸水箇所が幅広く分布しているが、風早中学校付近に、想定浸水深が高い地点が多くみられる。</p>
	<p>土砂災害（様式7参照） 住宅地と田畑の境目等の斜面に、土砂災害危険箇所等が7ヶ所存在するほか、大井交差点付近に未指定の土砂災害特別警戒区域等が存在する。</p>

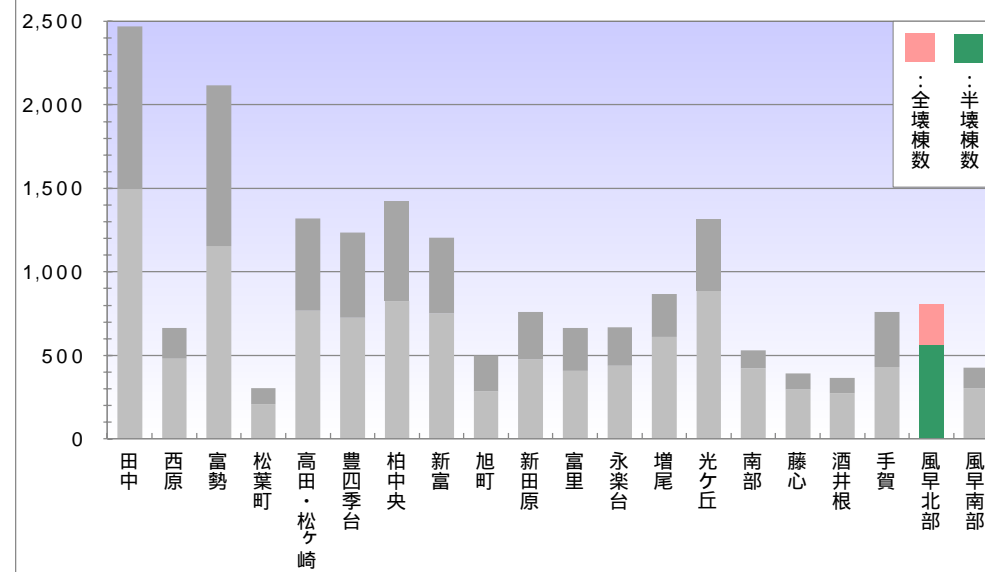
各種被害想定結果

被害想定項目	地域内		市全域		
	被害数	被害率	被害数	被害率	
地震	全壊建物棟数	244 棟	3.08 %	6,972 棟	5.94 %
	半壊建物棟数	563 棟	7.12 %	11,811 棟	10.06 %
	焼失棟数	49 棟	0.62 %	4,658 棟	3.97 %
	死者	3 人	0.01 %	250 人	0.06 %
	負傷者(重傷者含む)	27 人	0.11 %	900 人	0.21 %
	避難所避難者数(2週間後)	2,400 人	9.35 %	44,015 人	10.48 %
水害	床下・床上浸水棟数	51 棟	0.64 %	3,114 棟	2.65 %
	浸水被害世帯数	82 世帯		5,014 世帯	
	浸水被害人数	182 人		11,138 人	

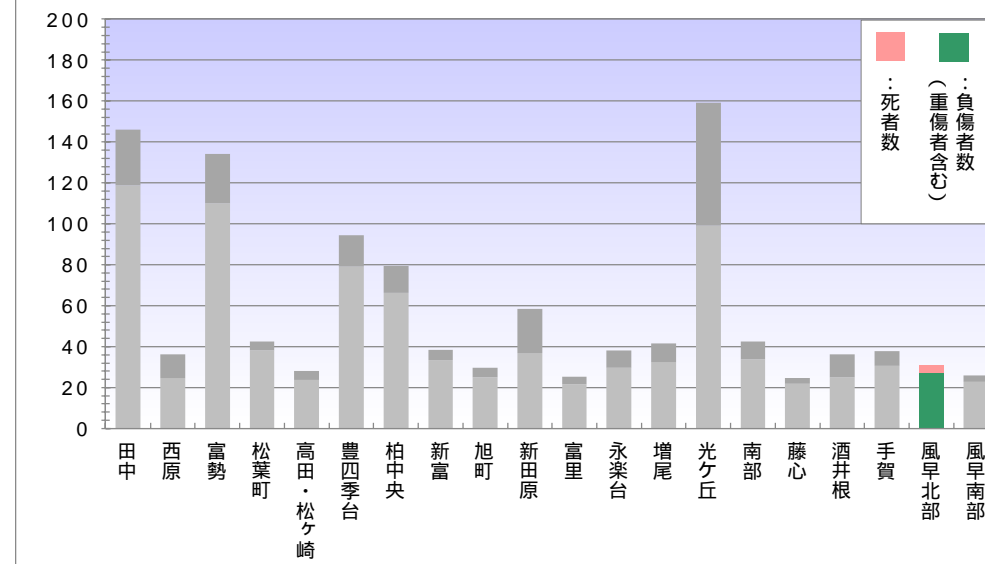
地震の被害想定は、柏市直下地震(冬18時、風速8m/s)によるものです。

水害の被害は、利根川水系の河川、手賀沼の氾濫によるものです。

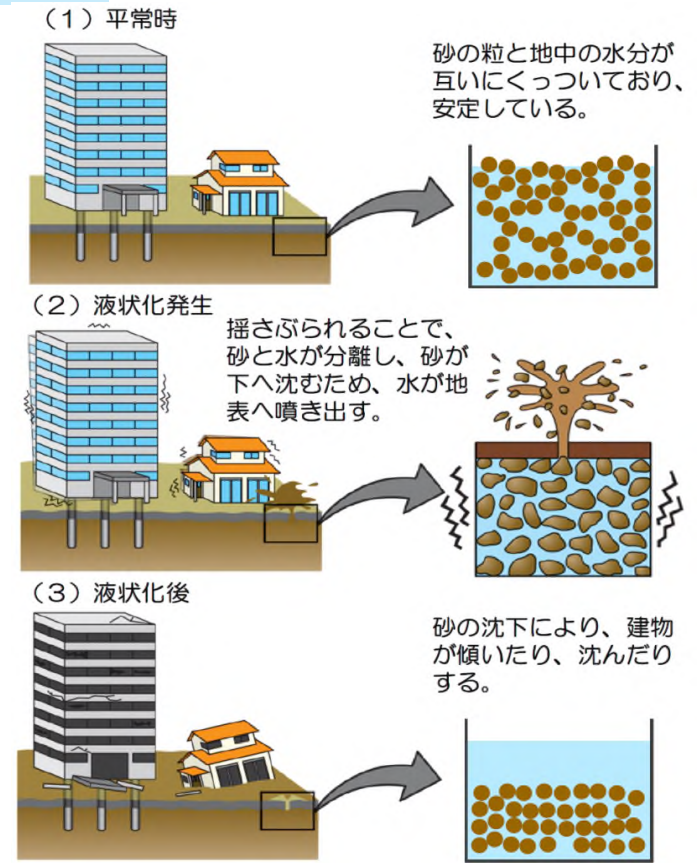
(棟) 地震により想定される、建物の全壊棟数・半壊棟数



(人) 地震により想定される、死者・負傷者(重傷者を含む)



液状化のしくみ



ご家庭の地震対策

皆さんの地震対策について、以下の事柄が当てはまるかどうか、チェックしてみましょう。

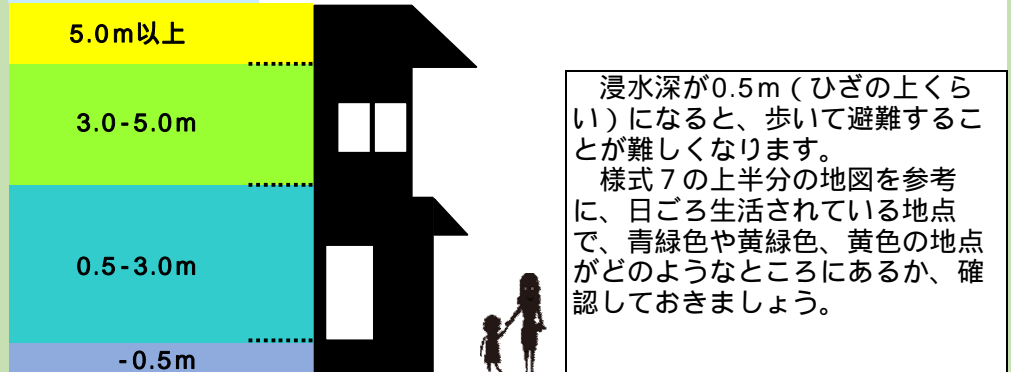
【住宅の耐震性】（昭和56年6月より前に建てられた家に住んでいる方）

- 家の耐震診断を受けた。
- 家の耐震改修をした。

【家具の固定など】

- 家具は倒れないように固定されている。
- 家具の上に危険な物を置かないようにしている。
- 寝る場所の近くには、倒れてきそうな家具は無い。
- 万が一、家具が倒れても、部屋の出口はふさがれない。
- 家具の固定器具や粘着性マットの点検を定期的に行っている。
- 感震ブレーカーを設置している。

浸水深の目安



柏市地域別防災カルテ 別表（福祉施設・保育施設一覧）

地域	施設	様式3 No	名称	浸水 域内	区分・種別など（1）	区分・種別など（2）	所在地
19. 風早北部 地域	福祉施設	1	沼南荘Ⅲ		障害福祉サービス事業所	グループホーム・宿泊型自立訓練	柏市大井 1176 シャルム
		2	社会福祉法人よつばかりのこ		障害福祉サービス事業所	就労継続支援A型	柏市大井 1872-2
		3	いもむし・あおい		障害児通所支援事業所等	放課後等デイサービス	柏市大井 554-5
		4	沼南荘		障害福祉サービス事業所	短期入所、グループホーム・宿泊型自立訓練	柏市大井 718 ビュー大木戸 1-104
		5	多機能地域福祉センターいろり	○	高齢者施設		柏市大井 934-2-3-105
		6	特養 あおいの里・柏	○	特別養護老人ホーム		柏市大井 988-1
		7	沼南荘Ⅱ		障害福祉サービス事業所	グループホーム・宿泊型自立訓練	柏市大津ケ丘 1-10-16 こずもす
		8	共同生活援助風の木		障害福祉サービス事業所	グループホーム・宿泊型自立訓練	柏市大津ケ丘 1-43-7
		9	グループホーム大津ケ丘東		障害福祉サービス事業所	グループホーム・宿泊型自立訓練	柏市大津ケ丘 1-51-10
		10	グループホーム大津ケ丘一丁目		障害福祉サービス事業所	グループホーム・宿泊型自立訓練	柏市大津ケ丘 1-51-11
		11	グループホーム大津ケ丘		障害福祉サービス事業所	短期入所、グループホーム・宿泊型自立訓練	柏市大津ケ丘 2-10-1
		12	就労継続支援B型事業所ボラリス		障害福祉サービス事業所	就労継続支援B型	柏市大津ケ丘 2-11-4
		13	沼南育成園		障害福祉サービス事業所、地域生活支援サービス事業所、障害児通所支援事業所等、障害児入所支援施設等	生活介護、短期入所、施設入所支援、就労移行支援、就労継続支援B型、柏市指定日中一時支援事業所、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援	柏市大津ケ丘 2-19-5
		14	青い鳥		障害福祉サービス事業所	就労継続支援B型	柏市大津ケ丘 3-5-105
		15	特定非営利活動法人いしすえ		障害福祉サービス事業所、地域生活支援サービス事業所	居、移動支援	柏市大津ケ丘 4-4-2 ウェルズ21 沼南パート 1B号室
		16	ユニバース		障害福祉サービス事業所	就労継続支援A型、就労継続支援B型	柏市大島田 105
		17	バステル		障害福祉サービス事業所、地域生活支援サービス事業所	生活介護、柏市指定日中一時支援事業所	柏市大島田 444-1
		18	ニューソフィアコートつかざき		サービス付き高齢者向け住宅		柏市塚崎 1040-1
		19	フォセット柏南		サービス付き高齢者向け住宅		柏市塚崎 1305-1
		20	こばんはうすさくら大津ケ丘教室		障害児通所支援事業所等	児童発達支援、放課後等デイサービス	柏市塚崎 1311-5
		21	沼南老人福祉センター「いこい荘」		市の高齢者・障害者福祉施設		柏市塚崎 1356
		22	ひまわり園		障害福祉サービス事業所	就労継続支援B型	柏市塚崎 1374
		23	美空訪問介護事業所		障害福祉サービス事業所	居重	柏市塚崎 629
		24	グループホーム風早の里		認知症対応型共同生活介護		柏市塚崎 997-3
		25	沼南社会福祉センター		市の高齢者・障害者福祉施設		柏市風早 1丁目2-2
		26	ボム・ほっとほっとルーム・いもむしみのわ		障害福祉サービス事業所、地域生活支援サービス事業所、障害児通所支援事業所等	生活介護、柏市指定日中一時支援事業所、放課後等デイサービス	柏市箕輪 358-1
		27	葵の園・沼南	○	介護老人保健施設		柏市箕輪 532-1
		28	沼風苑		特別養護老人ホーム		柏市箕輪 585
		29	グループホーム沼風苑		認知症対応型共同生活介護		柏市箕輪 588
		30	和楽久かしわ沼南		サービス付き高齢者向け住宅		柏市鷲野谷 1035-4
		31	訪問介護あしあと		障害福祉サービス事業所	居重	柏市鷲野谷 1043-24
		保育施設	1	手賀の丘幼稚園・保育園		認定こども園	幼保連携型
	2		咲保育園		認可保育園		柏市大井 1187-1
	3		大津ケ丘幼稚園		私立幼稚園		柏市大津ケ丘 1-44
	4		あいみ保育園		認可保育園		柏市大津ケ丘 3丁目3-2
	5		風早幼稚園		私立幼稚園		柏市大津ケ丘 4-7